

第10回

10th YAMANASHI Agriculture and Farm Village Symposium

やまなし農業・農村シンポジウム

定員600名
入場無料

みんなでつくる安全・安心な農村 ～農村地域における防災・減災対策～



日時

平成29年12月16日(土)
13:00~16:30

会場

東京エレクトロン韮崎文化ホール
〒407-0002 山梨県韮崎市藤井町坂井205
JR中央本線韮崎駅から約2.5km

基調講演

Keynote Speech

「農地・水の共同活動と防災・減災」

《基調講演者》^{ませぎ たまき} 柵木 環 (山梨県副知事)



三重県桑名市生まれ。
1987年北海道大学大学院農学研究所修士課程修了。
同年、農林水産省入省。
農業土木の技官として、東北農政局整備部水利整備課長、
農村振興局整備部防災課福島復興旧復興対策調整官、
農地資源課多面的機能支払推進室長などを歴任。
2017年4月から現職。

パネルディスカッション

Panel Discussion

「減災と災害復興を支える地域の力」

《コーディネーター》

吉田 修一郎

(東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)



1966年神奈川県横浜市生まれ。1993年東京大学大学院農学系研究科修了。同年、農林水産省入省。北陸農業試験場研究員、(独)農業食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター 主任研究員、(独)農業食品産業技術総合研究機構本部 主任研究員を経て、2010年、東京大学大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻 准教授に就任。現在に至る。研究内容は農地の生産性の向上や環境負荷低減に関する基礎・応用研究を、土壌から流域にわたる幅広いレンジで展開している。

《パネリスト》

原野 三男

(宮城県仙台市地方振興事務所 農業農村整備部長)



1985年4月宮城県入庁。
2011年3月東日本大震災発生当時北部地方振興事務所 農業農村部 技術次長。
2017年4月仙台市地方振興事務所 農業農村整備部長。

《パネリスト》

反田 公紀

(JAフルーツ山梨 宮農指導部長)



山梨県立農業大学校卒。
1982年山梨県協賛農指導員に採用され、地山市農協・JAフルーツ山梨と広域合併を経て、営農指導を35年間、組合員の果樹栽培・経営の指導を行う。

《パネリスト》

関口 康弘

(神奈川県立東野留高等学校 教諭)



神奈川県南足柄市出身。
現在神奈川県立東野留高等学校教諭。
南足柄市史編纂に携わり元禄地蔵、富士山宝火焼火と治水川の伝説による足柄平野の被害と復興に強い関心を持つ。
復興を田中丘岡にリードし、その過程で古代中国伝説の王で治水神となった禹王(文命)を祀ったことに注目。治水神・禹王研究会を立ち上げ、金の全国的な活動を支援している。

災害派遣職員派遣先自治体の協力によるパネル展示や写真コンクール受賞作品の展示もございます。

申込期間:平成29年9月19日(火)~11月24日(金) ※先着順で定員600名になり次第、締め切りとさせていただきます。

お申込み・お問い合わせ先

山梨県農政部耕地課

電話 055-223-1626

FAX 055-223-1624

メール kouchi@pref.yamanashi.lg.jp

ホームページ

www.pref.yamanashi.jp/kouchi/

山梨 耕地

検索



CONTENTS

歴史ある棚田を守る！！

～甲斐市敷島棚田等農耕文化保存協会～

02

あなたの知らない物語

「道の駅 つる」

04

田園空間博物館 甲州市勝沼町

～そこは屋根のない博物館～

06

早川ジビエ

～大自然の恵み～

08

耕輝 ～KOUKI～

「やまなし農村発見マガジン 耕輝 ～KOUKI～」は、
県内各地における担い手の取り組み、
6次産業化、農業農村整備事業などのホットな話題を提供する
情報マガジンです。

表紙写真

第10回やまなし農村風景写真コンクール
富士山賞「忍野の春」

道の駅つる 農林産物直売所



- 都留市大原地区に昨年11月にオープンした『道の駅 つる 農産物直売所』では、地元の野菜や特産品の販売をしています。
- 特に冬が旬の”水掛菜”は、漬け物やおひたし、味噌汁等に使い、大人気！富士山の湧水で育ったおいしい水掛菜をぜひ堪能してください。

お問い合わせ

道の駅 つる

山梨県都留市大原88

TEL:0554-43-1110

道の駅 つるの詳細は4ページから！

産

地

自

漫！